

暑中お見舞い 申し上げます



大崎町長 東 靖弘

連日厳しい暑さが続いており
ますが、町民の皆様方には、お
元氣にお過ごしのこととお喜び
申し上げます。

今年、鹿児島に大きな災害
をもたらした平成5年の台風13
号の襲来や大雨により多数の人
命が奪われた、いわゆる『8・
6水害』から20年目を迎えま
す。台風をはじめとする災害
シーズンはまだこれからです。
折しも今年は大正3年の『桜島
の大正大噴火』から100年目
を迎える年でもあります。本町
にもこの大噴火からのがれて移
住してこられた方が多数おられ
たことを思いますと、遠く離れ
たところのこととは思えず、身
近なことだと改めて実感する次
第であります。そういった意味
からも今年『防災』について
見つめ直すよい機会ではないか
と考えます。

わが国は世界の中でもとりわ
け地震の発生が多く、国土の置
かれた位置やその地形から台
風・津波そしてひとたび大雨が
降ると土砂崩れ、鉄砲水に襲わ
れたりとあらゆる災害がいつ

襲つてきても不思議ではありませ
ん。ひとたび災害が起こるとそ
の復旧には多大な費用と年月を要
します。

我々はいつ何時災害が起きても
おかしくない環境の中に住んでい
るのだということだけは常に肝に
銘じておく必要があるのではない
かと考えます。

本町においては、老朽化に伴い
更新が必要となっておりました
『防災行政無線屋外拡声子局（屋
外スピーカー）』を平成24年度に
おいてすべて新しいものに換えま
した。また、町内の全世帯を対象
に屋内個別受信機の設置を今年度
中に実施いたします。自然災害発
生時には的確に避難情報等を町民
の皆様にお伝えできるようにした
いと考えております。

また、子どもたちの安心・安全
な教育環境の確保を図るために現
在町内の小中学校の校舎及び体育
館等の耐震化工事にも積極的を取
り組んでいくところでございま
す。

地球温暖化の進行に伴い、気象
条件は以前とは様変わりし、地球
規模で大災害が起こり得る状況に

なつてきております。今後とも
日々防災に心がけ、安心・安全
なまちづくりにまい進していま
ります。

中学校の統合に向けた準備も
順調に進んでおり、現在、新生
大崎中学校の校舎、体育館、運
動場等の改修工事を行っており
ます。年明けには、新生大崎中
学校としての第1期生を迎え入
れる準備がすべて整うことにな
ります。

県立有明高等学校の統合後の
跡地利用問題につきましては、
現在県が基本構想の策定に着手
したところであります。今後各
種スポーツ合宿の受け入れに対
応した本格的な総合スポーツ施
設としての整備が進むものと思
われます。

まだまだ暑い日が続きますの
で、熱中症には十分注意してい
ただき、ご家族とご一緒に楽し
い夏をお過ごしくださいさようお
祈り申し上げます、暑中のごあいさ
つといたします。

平成二十五年 盛夏

大崎町長

他職員一同